



今年、第三地区では26名の方が成人されました。その中から5名の方に心境や抱負をお聞きしました。

小原 千佳 (若松町)

私は高校卒業後、長野県を離れて県外の学校へ進学し、一人暮らしを始めました。一人暮らしを始めてからは、今まで両親にやってもらっていたことを自分の力でこなさなくてはならず、苦勞が沢山ありました。また、改めて両親に感謝し、社会で生活していくことの大変さを

新成人おめでとう！



を感じました。

この度成人式を迎え、ついに私もこの社会を支えていく大人の仲間入りを果たしました。まだ慣れない事も多く、頼りない面も多々ありますが、この機会に沢山の事を学び、自分自身を更に成長させていきたいと思えます。そして社会に出て恥をかかないように、日々の生活の中でも社会人としての自覚や責任を持つて過ごしていきたいです。

小原 千佳 (若松町)

今、振り返れば二十年前はあつという間でした。常に私の事を応援してくれて支えてくれた家族には感謝の気持ちでいっぱい입니다。そして毎日笑顔で過ごせているのも、支えてくれる皆さんの方々のおかげです。

大好きな地元へ恩返しができるよう、これから私がやるべき事

金山 紗也 (四ツ谷東)

私に就いての成人は、法律上「大人」と認められる事だと思っています。法律上の事なので私が真に「大人」になれたのかと言うとそうではありません。精神的にもまだまだ未熟で「大人」

塚原 大輔 (埋橋)

私は現在、大学で法を学んでいます。高校卒業後すぐに働き始めた友人達もいる中で、未だ勉強に努めていられることは恵まれていると感じるとともに、感謝すべきことだと思っています。

小林 宇宙 (西埋橋)

最後に家族や親族、友人と違った様々な人達に支えられこの度無事に人生二十一年の節目を迎える事ができましたことを、深く感謝いたします。

武井 和哉 (金山町)

私は市内の大学生で今年三年生になります。本年は就職に目を向けていく年であり、人生を決める大切な時になるだろうと考えているので普段から世間目に向け、時代の流れを読みながら、優良企業を見極めていきたいです。

を見つめ、毎日笑顔を絶やさず、周りの方々への思いやりや感謝の気持ちを忘れず過ごしていきたいと思えます。大人になることへの自覚を持ち、他人には優しく自分には厳しく、責任のある行動を取り、地元の子ども達の見本となるような大人になりたいと思えます。

と呼ぶにはまだかなり怪しいものです。

現に、今は両親や親族の支えがなければ、日々生きていく事や大学へ行く事も出来ませんが、社会へ船出する時には、自立した真の「大人」としての自覚と行動ができるよう日々努力を重ね、いただいた恩に報いるように生きていきたいと思えます。

最後に家族や親族、友人と違った様々な人達に支えられこの度無事に人生二十一年の節目を迎える事ができましたことを、深く感謝いたします。

私は現在、大学で法を学んでいます。高校卒業後すぐに働き始めた友人達もいる中で、未だ勉強に努めていられることは恵まれていると感じるとともに、感謝すべきことだと思っています。

さて、少々話は変わりますが、「法」というものは社会と密接な関係にあります。身近な婚姻売買契約だけでなく、昨年は、国政における新安保法制は物議を醸しました。

私の進路はまだ決まっていますが、前記のような社会における諸問題について、法的観点という形で学びを還元していきたいと思っています。

最後に家族や親族、友人と違った様々な人達に支えられこの度無事に人生二十一年の節目を迎える事ができましたことを、深く感謝いたします。

私は市内の大学生で今年三年生になります。本年は就職に目を向けていく年であり、人生を決める大切な時になるだろうと考えているので普段から世間目に向け、時代の流れを読みながら、優良企業を見極めていきたいです。

また、就職後に自分が専門的に学んでいる経済学を使い地元経済を活性化させるために、より一層大学の講義を自分の力となるように吸収していきたいと思えます。

昨年秋、新潟市に転動した長男夫婦を訪ねがてら松本山雅の応援に行ってきた。

J1残留をかけた天王山の戦いとのことで松本からは約3千人のサポーターが駆けつけ、会場は熱気に満ち溢れていた。

応援が更に熱気を帯びてくとサポーター達がゾロゾロと中央に移動し始めた。何事かと私達も移動してみると、サポーター達が肩を組み、「信濃の国」の大合唱が始まった。

約3千人のサポーター達の合唱が4万人収容のビッグスタジアムに響き渡る様は、何とも例えようがなく、年のせい目頭が少しだけ熱くなった。そして「信濃の国」に思いを馳せ、この歌が県歌としてあることがちょっと嬉しかった。

(小口 希志子)



昨年秋、新潟市に転動した長男夫婦を訪ねがてら松本山雅の応援に行ってきた。

J1残留をかけた天王山の戦いとのことで松本からは約3千人のサポーターが駆けつけ、会場は熱気に満ち溢れていた。

応援が更に熱気を帯びてくとサポーター達がゾロゾロと中央に移動し始めた。何事かと私達も移動してみると、サポーター達が肩を組み、「信濃の国」の大合唱が始まった。

約3千人のサポーター達の合唱が4万人収容のビッグスタジアムに響き渡る様は、何とも例えようがなく、年のせい目頭が少しだけ熱くなった。そして「信濃の国」に思いを馳せ、この歌が県歌としてあることがちょっと嬉しかった。

(小口 希志子)



スタジアム

応援に来たサポーター

四ツ谷東町会 サロン「ひまわり」

四ツ谷東町会副町会長 山内 達雄

私共の町会には2年ほど前まで「さつき会」という高齢者のサークルがありました。会員の高齢化と後継者不足で自然消滅した経緯があり前会員から、なくなつて寂しいとの声があがっていた矢先、一昨年11月に第三地区公民館長よりサロンを立ち上げてみないかとお話があり、役員会で検討した結果昨年2月に「茶話会」として第1回目を開催しました。

毎月第2金曜日の午後1時より2時間定期的に開催し、サロンの名前も「ひまわり」と決め、季節の行事（花見、敬老の日、新年会など）は食事会を行い、毎月誕生日会を行っています。

サロンは町会ボランティア部員20名の協力により運営され、昨年1年間開催した結果、参加者の固定化と男性の参加者がなく、今後いかに多数の町会の皆様を誘致するかが課題です。これからも町内の高齢者の方が明るく生き生きと生活できる場を「サロン」を通して提供できたらと考えています。



清水中学校生徒がまち歩き

11月26日（木）、清水中学校の生徒達が旧山辺街道から中町、日の出町周辺のまち歩きをしました。建築家や市都市政策課の職員を講師に、地区の歴史等を勉強しました。

生徒の感想

松本の道路はまっすぐではなくてギザギザしていたので何でかなと思っていました。なぜギザギザかというと、松本城が敵に攻められないようにできていると聞いてそうだったのかと思いました。とても昔と関わりがある作りだったのでおもしろかったです。

松本に住んでいるけど、昔の松本の様子など、意外と知らないことが多かったです。説明を聞いていると、歴史のある建物や神社がけっこう残っていることがわかりました。知らない松本を知ることができ、良かったです。



中町・クラシック館

自分がまだまだ知らない、片倉組や城下町の秘密などをたくさん聞けたのでとてもいい経験になりました。とても楽しく、わかりやすく、お話をお聞きできたので、良かったです。

松本城付近の上土までの松本の歴史や地形を教えていた歩きながら歩きました。小学校でもあまりふれていない蚕糸試験場やカフラスについて、とてもよく知れる機会となり良かったです。また、片倉社の歴史が一番驚きが多かったです。カタクラモールの建物が無い7.3haにも驚きました。楽しかったです。



カタクラモール跡地



十王堂

第三地区の若い力!

仕事を精一杯頑張る、第三地区の若い世代の方をインタビュー形式で紹介していきます!

武井 遥さん (24歳)
金山町町会 保育士

Q 仕事について今思うことは?

A 大切な子ども達を預かる責任の重さの分、やりがいも多い仕事です。

Q 自分の住むまち (第三地区) についてどう思いますか?

A 中心市街地にありながらも穏やかで暮らしやすい街だと思っています。

Q どうして地元に戻ってきたんですか?

A ここで生まれ育ってきて、これからも暮らしていきたいと思っただけからです。

Q 今、一番関心があることは? 昔ながらのわらべ歌や遊びを学びたいと思っています。



子どもと一緒につくった作品